

アグリパークでのアレルギー対応について

新潟市アグリパーク

アグリパークでのアレルギー対応につきまして以下の点をご確認いただき、アレルギー調査票にご記入ください。

1 食物アレルギー

(1) 調理体験をする場合

- ア 代替の材料を準備、または除去できるものがありますので、「調理体験メニュー使用食材一覧」をご覧ください。
- イ 体験で使用する調理室・体験ハウスでは、一般のお客様を対象とした調理も行っており、調理器具・食器について、食材による使い分けをしておりません。間接的な微量混入の可能性があります。特別な対応が必要な場合はアレルギー調査票にご記入ください。

(2) レストランを利用する場合

- ア 別紙「レストランASPメニュー食材一覧」を確認し、必要な対応をご連絡ください。
- イ レストランでは、一般のお客様向けの調理も行っており、調理器具・食器・揚げ油など、食材による使い分けをしておりません。間接的な微量混入の可能性があります。特別な対応が必要なお子さんにはご要望に添えない場合がございます。その場合は、食事の持ち込み等をお願いしております。詳細をアレルギー調査票にご記入ください。

2 動物に対するアレルギー

畜舎では、牛・羊・山羊を飼育しています。犬や猫等の動物アレルギーがある場合は、「畜舎に入らない」「マスク・手袋を持参してつける」などの対応をお勧めいたします。なお、手袋を使用した後は、畜舎から出るときに捨てていただきます。各自で使い捨てできる手袋をご持参ください。餌やりの際は、家畜が手袋を誤食しないよう、餌を餌台に置く方法で行っていただきます。

3 植物に対するアレルギー

(1) 野菜や果物

畑には多くの野菜や果物が栽培されており、季節により種類も異なります。
園内でアレルギーの可能性のある植物（例）
落花生（ピーナッツ）、稲、キウイ、メロン、すいか、くるみ等
* 来園時に、引率の先生と該当のお子さんに栽培位置をお知らせしています。

(2) 稲科の植物等

- ア 畜舎にはチモシーや粃殻など、稲科の植物があります。アレルギーをお持ちのお子さんは、「畜舎に入らない」「マスク・手袋を持参してつける」などの対応をご検討ください。
- イ 畑の周辺には、ブタクサ・ヨモギなどが自生しております。

(3) 杉の材木

園内の施設で越後杉を使用しているものがあります。
宿泊棟のコテージの建物、体験ハウスと調理室のテーブルといすは杉材です。
レストランの柱・梁等は杉の古木の可能性があります。木材から花粉が出ていることはありませんが、接触によってアレルギー反応を起こすというお子さんには、杉材でない椅子に交換いたします。